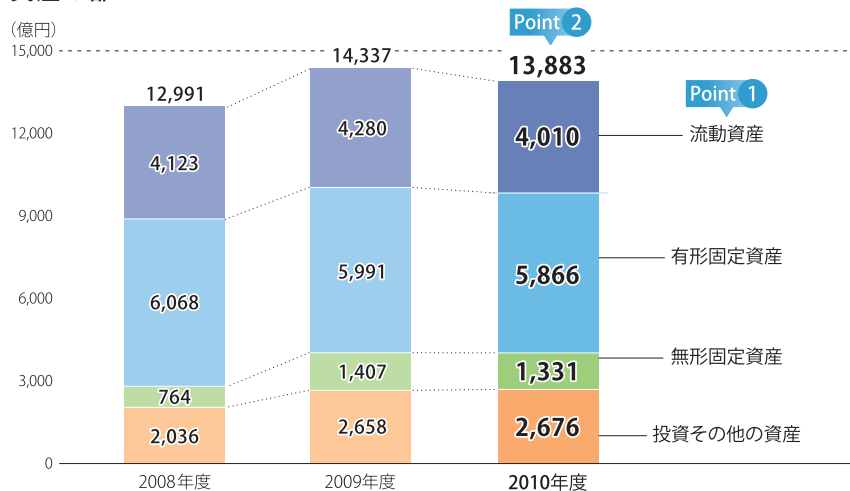


## 連結財務諸表

### 貸借対照表 (2008年度、2009年度：12月31日時点、2010年度：6月30日時点)

#### 資産の部



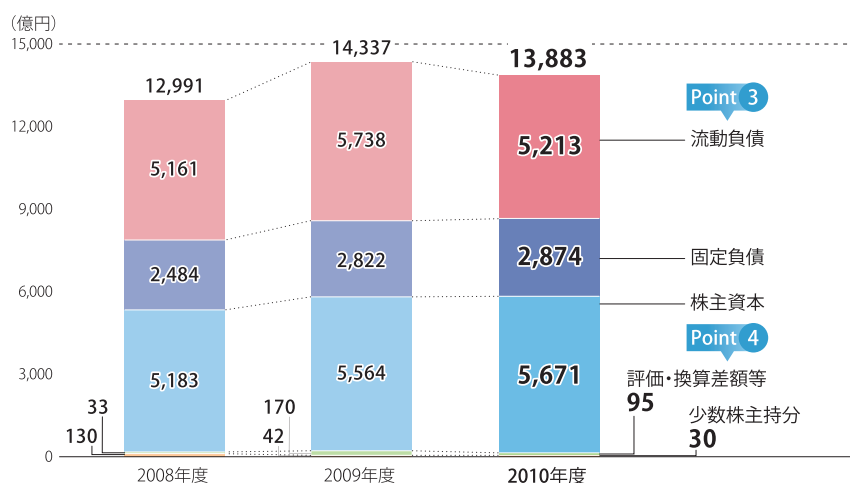
#### Point 1 流動資産

減少の主な要因は、受取手形及び売掛金です。期末は通期でも最も債権残高が多いことから、期末との比較において減少しました。

#### Point 2 総資産

季節要因による売上債権の減少と、設備投資の抑制による有形固定資産・無形固定資産の減少の影響によるものです。

#### 負債・純資産の部



#### Point 3 流動負債

期末は休日（お正月）で期末残高が膨らむため、支払手形及び買掛金が減少することに加え、短期借入金の一部返済によって大幅に減少しました。

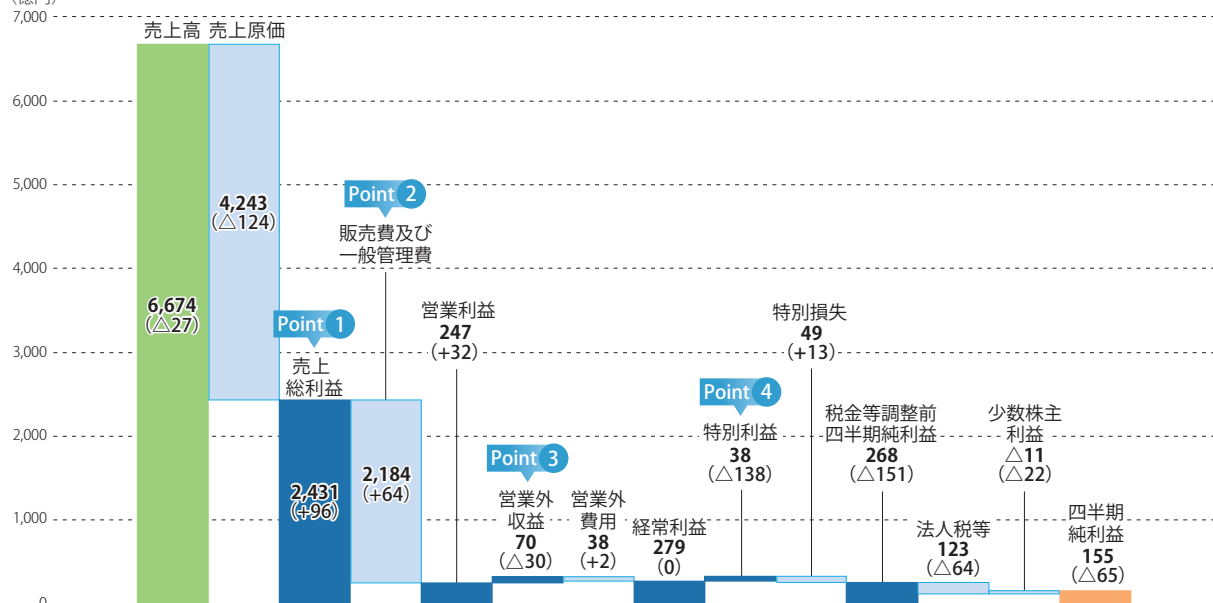
#### Point 4 評価・換算差額等

6月末の対豪ドル為替レートが、前期末の為替レートより大幅に円高となったため減少しました。

## 連結財務諸表

### 損益計算書 (2010年1月1日～6月30日)

(億円)



※ 括弧内は対前年同期比

#### Point 1 売上総利益

シュウェップス・オーストラリアの1月～3月の業績が加わったことや、アサヒビール(株)とアサヒ飲料(株)での製造原価の削減によって増加しました。

#### Point 2 販売費及び一般管理費

シュウェップス・オーストラリアの1月～3月の販売費及び一般管理費が加わったため、増加しました。

#### Point 3 営業外収益

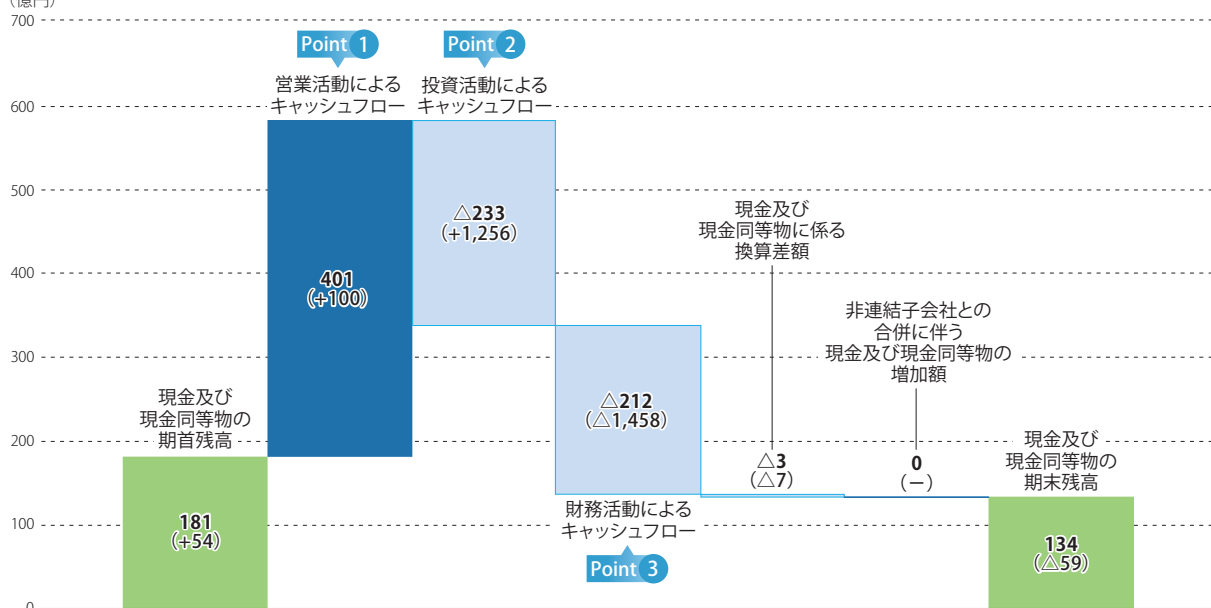
持分法投資損益に新たに青島啤酒股份有限公司の利益が上乘せとなりましたが、のれん償却費の増加や康師傅飲品控股有限公司の持分比率低下に加え、前年同期に計上したシュウェップス・オーストラリア向け貸付金の為替差益がなくなったことなどで、前年同期を大きく下回りました。

#### Point 4 特別利益

前年同期に康師傅飲品控股有限公司株式の一部を売却したことで発生した売却益 (160億円) を計上した反動で、151億円の大幅な費用増となりました。

## キャッシュフロー計算書 (2010年1月1日～6月30日)

(億円)



※ 括弧内は対前年同期比

### Point 1 営業活動によるキャッシュフロー

税金等調整前四半期純利益は減少しましたが、売上債権や負債の増減額がキャッシュプラスに働いたため、前年同期比で増加しました。

### Point 3 財務活動によるキャッシュフロー

昨年は事業投資を目的とした資金調達で金融債務が膨らみましたが、本年はその金融債務の一部返済に営業活動で得たキャッシュを充当したことから収入減となりました。

### Point 2 投資活動によるキャッシュフロー

昨年のシュウェップス・オーストラリアの買収や青島啤酒股份有限公司の一部株式取得に伴う大量支出の反動で、大幅に減少しました。